

週刊 IYO球児

2016.5.7

於：伊予高校

練習試合が伊予高校で開催

今治北投手陣に脱帽

経験

を糧に

1、3年生でチームを編成

悔しさをバネに
まだまだ上を目指して

緊張する1年生を励ます
今西キャプテン

1年千葉2番手で登板
3回を無失点

2試合目

岩元力投報われず

1試合目

部活動の枠をこえて

みんなでグラウンド整備しました

1年木澤

元気の良さで出場機会を得る

5月7日(土)		(第1試合)										@ 伊予高校		
チーム		1	2	3	4	5	6	7	8	9		計	H	E
今治北		0	0	0	0	0	2	0	1	1		4	9	2
伊予		0	0	0	0	0	0	0	0	1		1	3	1

【今治北】上谷・山本一彦

【伊予】岩元一清

【2塁打】(今)清水

【3塁打】(今)木谷

【本塁打】(伊)今西

【本塁打】

5月7日(土)		(第2試合)										@ 伊予高校		
チーム		1	2	3	4	5	6	7	8	9		計	H	E
伊予		0	0	0	0	0	0					0	5	3
今治北		1	3	0	0	0	X					4	4	0

※時間切れ

【伊予】西岡丈・千葉一清

【今治北】岡村・山内・森田・橋

【2塁打】(今)木谷

【3塁打】(伊)岩元

【本塁打】(今)森田

○今治北 4-1 伊予

両校とも譲らず0対0のまま迎えた6回表に、伊予高校は失策で出したランナーを連打で速攻還され2点を失う。8回、9回には、四球で出したランナーを犠打で送られ、タイムリーヒットとそつのない攻撃で計2点を追加される。最終回、伊予高校の攻撃は1死から今西がスリーベースヒットを放つと、続く金子のセンター前ヘタムリーヒットで1点を返すも、後続が打ち取られゲームセット。伊予高校は先発岩元が小気味よいピッチングで途中まで相手打線を封じこんでいたが、今治北高校の先発ピッチャーに途中までノーヒットに抑えられるなど、打線が沈黙し、勝利することはできなかった。

○今治北 4-0 伊予

伊予高校は1年生西岡丈が先発を任されると、失策や四球等が重なりノーヒットで1点を失うが、後続を連続三振で最少失点にいとめる。しかし、2回の裏には2死ランナー1、2塁からレフト越えに3ランホームランを打たれるなど、ほろ苦い先発デビューとなった。2番手に登板した1年生千葉は、打たせて取るピッチングに徹し、3回を無失点に抑えた。伊予高校打線は、この試合も湿りがち。最終回到岩元のヒット、高橋のツーベースヒットなどでチャンスを作るも後続が打ち取られゲームセット。この日の練習試合は2連敗となった。

トピックス

【マネージャーの独り言】 前日に雨が降りグラウンド状況が悪かったので、午前中はグラウンド整備を部活動の枠を越えてみんなで行いました。練習試合では、1年生は緊張しているようでしたが、3年生の優しい声かけで緊張もほぐれ、試合では少しでも役に立とうと頑張っているように見えました。ベンチの声援がグラウンド中に響いていました。3年生が優しく、良い部活動だと思いました。マネージャーも達成感のある時間でした。